

新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル

令和4年9月11日
都留市陸上競技協会

【1】 大会を実施するにあたっての感染対策の方針

三密を回避する配慮を徹底して行う。

都留市の施設利用に関する新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守する。

【2】 具体的な対策

競技者は、ウォームアップやクールダウン、競技中、競技前後はマスクを外してもよい。

参加者、競技役員ともに、ソーシャルディスタンスを確保できない場合はマスク着用。

【3】 招集の方法について

競技開始 20 分前までに、トラック競技出場者は 100m スタート地点にある招集所、フィールド競技出場者は現地に集合。スタートは指定された位置で待機する。双方 2 m 間隔を空ける。

【4】 競技運営について

各種目タイムレースとする。競技場を出入りする際は必ず入場許可証を提示して、アルコール消毒をする。

【5】 消毒対策

競技場の玄関、スタンド入口で全員にアルコール消毒をしてもらう。

出入り口と必要な競技場所には消毒液を設置し、入退場の際は消毒をする。

消毒液はトラック競技の各スタート・ゴール、フィールド競技会場、メインスタンド出入口に設置する。その他各チームで消毒液を持参し頻繁に消毒を徹底。

【6】 観客席対策

スタンド入口は南側 1 か所とする。導線で案内する。車椅子の場合は対応する。

各自 2 m の間隔を確保し、密集することが無いよう徹底する。スタンドに集団でいることや大声を出しての応援は禁止とする。

入場制限については、各チーム選手以外の関係者・スタッフ・応援者は、三密を回避するためできる限り最少の人数とする。

【7】 各チームの対策

チームでテントやシートでベンチを作って構わないが、平素よりスペースを広めにとり、ベンチ内で密集しないよう徹底する。

ベンチの設営場所は第 1 コーナーから第 2 コーナーの間の芝生スタンド。

場合によっては、多目的グラウンドを利用する場合もある。

【8】 ウォーミングアップ

競技場内は時間規制あり。多目的グラウンド常時利用可能。

【9】 健康チェック・参加要件

大会当日までの JAAF 健康チェックシート(山梨陸協HPに掲載)を提出する。

本人が健康であることを確認した上で参加の承諾をする。

当日受付後、入場許可証を発行する。

競技に参加する選手だけでなく監督、コーチ、観客、競技に参加しない選手についても健康チェックシートを提出しなければならない。

当日の検温欄に記載がない場合は、体温計で測定し、参加の可否を判断する。